

2023年3月29日

「鉄道駅バリアフリー料金」の整備等計画変更届出について

東京地下鉄株式会社では、2022年4月25日(月)に「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用するため、鉄道事業の料金設定届出を行いました。この度、投資計画の進捗状況などを踏まえ、バリアフリー整備・徴収計画の変更が必要となったことから、変更届出を行いましたのでお知らせいたします。

詳細については次ページ以降をご参照いただくか、下記ページでも公開しております。

<https://www.tokyometro.jp/safety/barrierfree/index.html>

以上

## バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	東京地下鉄株式会社
---------	-----------

整備方針	
全期間	・ホームドア全駅整備完了 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備、エスカレーター整備、バリアフリートイレ整備の推進 ・日比谷線各駅のホームと車両の間の段差・隙間の縮小完了等
2021～2025年度	・ホームドア整備の推進 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備、エスカレーター整備、バリアフリートイレ整備の推進 ・日比谷線各駅のホームと車両の間の段差・隙間の縮小完了等
2026～2029年度	・ホームドア整備の推進 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備、エスカレーター整備、バリアフリートイレ整備の推進等

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	(※1)	—
年間徴収額 (百万円)	7,208 (※2)		4,733	—
料金徴収 対象駅	全180駅			
備考	(注) 設定額は税込額 ※1 通勤定期券、全線定期券への設定料金 1か月：370円、3か月：1,050円または1,060円、6か月：1,990円または2,000円 ※2 上記券種のほか、各種回数券、団体乗車券からの徴収額を含む。  鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。			

年間徴収額	11,941 百万円
徴収期間	7.0 年間 (2023.3 ~ 2030.3) ※2030年4月以降の継続について検討予定
総徴収額	83,587 百万円
総整備費	84,397 百万円
	2021～2025年度の計画： 52,427 百万円
	2026～2029年度の計画： 31,970 百万円 ※2030年度以降の継続について検討予定

## バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	39 駅 81 番線	21,235 百万円
エレベーター	5 駅 9 基	3,254 百万円
エスカレーター	1 駅 11 基	208 百万円
スロープ	2 駅 4 ヶ所	19 百万円
内方線付点状ブロック	1 駅 2 番線	4 百万円
段差隙間縮小に資する設備	19 駅 38 番線	244 百万円
バリアフリースイッチ	4 駅 5 ヶ所	201 百万円
車両のフリースペース	80 両	92 百万円
その他	3 駅	51 百万円
備考	・ホームドア：新設（21駅45番線）及び延伸（18駅36番線） ・その他：視覚障害者誘導用ブロック、手すり、幅広自動改札	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	67 駅 135 番線	4,998 百万円
エスカレーター	22 駅 93 基	5,597 百万円
その他	7 駅	189 百万円
備考	その他：運行情報提供設備（自動旅客案内装置）	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
半蔵門線	19 編成 190 両	3,069 百万円
ホームドア整備等との一体性について	半蔵門線ホームドアの早期整備等を実現するため、ホームドアに対応したATO装置等搭載かつ、車両の床面高さを低くした車両等に更新する。（整備費はホームドア整備・段差解消に資する装置のみ対象）	
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費（附帯費用含む）	12,377 百万円	
収受システム改修費	126 百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	763 百万円	
備考	・維持管理費：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備（自動旅客案内装置）等	

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	52,427 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	45	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	5 駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2030.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	1 駅	3 番線	2,273 百万円
エレベーター	1 駅	1 基	159 百万円
エスカレーター	1 駅	2 基	167 百万円
内方線付点状ブロック	1 駅	2 番線	4 百万円
バリアフリースイレ	1 駅	1 ヶ所	30 百万円
車両のフリースペース	120 両		162 百万円
その他	2 駅		19 百万円
備考	・その他：視覚障害者誘導用ブロック、手すり		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	112 駅	227 番線	11,801 百万円
エスカレーター	18 駅	66 基	5,574 百万円
備考			
② 車両更新			
路線名	整備数		整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	11,698 百万円		
収受システム改修費	83 百万円		(※)
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	- 百万円		(※)
備考	・維持管理費：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備（自動旅客案内装置）等 ※ 2030年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本様式には計上していない。		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	31,970 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		3	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅